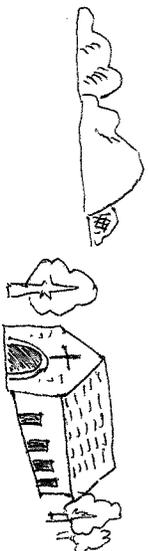


* 塚教会CS新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

2020年9月号
日本基督教団 塚教会
No.500 教会学校

いずみのひろば



「パウロの弁明」

使徒言行録 26章 19～25節

パウロさんはかつてイエスを信じていませんでした。逆にイエスを信じ
る人のことをいじめていたのです。そんなある日、急に目の前が明るくなる
とイエ
スさまが現れて、目が見えなくなっていました。そんな中、ダラスコという町
のア
ナニアという女の人再びパウロさんの目が見えるようにとイエスさまにお祈
りす
ると、目から鱗のようなものが落ちてパウロさんの目は元に戻りました。それ
から
パウロさんは熱心にイエスさまのことを信じて、みんなにイエスさまのことを
広
めていきました。

しかし、そんなパウロさんをイエスさまのことを信じない人たちはよく思
って
いませんでした。そしてついに、パウロさんは捕まってしまうました。捕
ま
ったパウロさんはユダヤの王さまアグリッパの前に連れて来られ、こう言
いま
した。

「王さま、私は神さまに言われたとおりにダラスコの町の人や、エルサ
レ
ムの人、そして外国の人たちにも、神さまを信じて正しい行いをする
よ
うにと伝えてきました。私は色々な人に神さまのお話をしてきましたが、
聖
書に書かれている事しか話していません。」

この言葉を聞いた王さまは、パウロが正しいと納得するのです。

どんな困難の中にもパウロさんはイエスさまの救いを世界の人に伝
え
てきました。今、この国だけでなく世界中が辛い状況にあります。だから
こ
そ、イエスさまの救いを知っている私たちはパウロさんの様に多くの人に
イエ
スさまの素晴らしさを伝えていきましょう。

(おはなし 辻野智也 先生)